

学力向上に効果のある取組事例

国東市立志成学園

取組の具体

○授業力の向上

- ・校内研究のテーマに沿った授業力向上
 - * 交流する場面の充実
 - * 授業規律の徹底（ノーチャイム）
 - * 互見授業・好事例の交流
 - * ノート等の字を丁寧に書く指導の徹底
- ・ICTを活用した授業、週1回の持ち帰り

○自分勉強（自学）の工夫

- ・5年生以上で実施（他学年も学年に応じて実施）
- ・よい自学ノートの交流

○補充学習の徹底

- ・朝自習、昼休み、放課後等に実施
- ・テスト期間の30分補充学習（1日2コマ）
- ・9年生受験対策補充授業（体育大会後から7校時）

○家庭学習の工夫・徹底

- ・週末5教科課題取組・提出・丁寧な見取り指導
- ・「家庭学習のてびき」（1～9年）の作成・保護者への協力依頼

互見授業チェックシート

【研究主題】 主体的に学びに向かい、表現できる児童・生徒を育成する授業の創造	◇全体交流での「主体的に学びに向かう」姿とは、 自分の考えと周りの考えを比べながら交流し、自分の考えを強化や、補足・考え直しができた姿とらえる。（自分の考えを高める）	そのための 手立ての例 ・場の工夫 （板書・ボード ICT など） ・声かけ （進捗問 修正を促す）
	◇全体交流での「表現できる」姿とは、 友だちの発表や教師の言葉かけによって、説明が詳しくなったり、より適切な表現になったりした姿とらえる。	
	(手立てと感じた所や、児童・生徒の反応) ○考えさせることを紙に書いて提示することで、考える時間を保障できていた。また、授業者が、何を問うのかを意識できていた。（ぶれない） ○机間指導をこまめに行い、肯定的な言葉かけをしていたので、安心して自分の考えを書けると感じた。 ○挙手を促す言葉かけを繰り返してよかった。これを続けることで、発表することが当たり前の雰囲気が作られていくと思った。 ○生徒の様子をよく見ていて、ペア活動も必要な場面で仕組めていたので、主体的な学習を支えていた。 ○生徒の意見に「上辺だけって、どういことかな」と、共通理解を回ったり、資料にない言葉（生徒の考え）を聞き出したりできる問い返しがあった。	
	板書の写真	
	【授業者への意見・アドバイス等】 登場人物の心情を問えば、あらすじを押さえることができるので、一番考えさせたいことを絞って問うと、もっと自分の考えを出し合えると思います。資料の中に価値はたくさんあるので、先生が一番伝えたいことを選べばいいと思います。（1年をかけて、いろいろな価値を見つめればOK）本時なら、「なぜ信也の気持ちに気が付かなかったのか」「なぜそれだったのか」等が問いになるかな。「自分だったら?」「自分はどっちに似てる?」などは、いつでも使える問い返しで、おすすめです。	

